

広報ツールの共有化 ー 図書館グッズの共同制作

武尾亮

(女子栄養大学図書館、企画広報研究分科会代表)

2009年1月29日

国立大学図書館協会東京地区・関東甲信越地区合同事業
大学図書館職員研修

本日の報告内容

1. 分科会について
 2. パスファインダーバンク
 3. 広報グッズの共同制作
-

1. 分科会について

1. 分科会について

□ 正式名称

私立大学図書館協会東地区部会
研究部 企画広報研究分科会

□ 1986年 他分科会から独立・活動開始

- 1985年までは他分科会の一グループとして活動

□ 現在 第12期（1期＝2年）

1. 分科会について

□ 活動の趣旨

- 図書館広報・広報手段の研究
- 実践的なツールの作成
- 研究成果・作成したツールを図書館間で共有化



「図書館広報実践ハンドブック

： 広報戦略の全面展開を目指して」

（日本図書館協会 2002年）

1. 分科会について

□ 最近の活動

- 図書館広報実践講座（2007年@NII）
 1. パスファインダーをつくる！（7月）

講師 仁上幸治氏（早稲田大学図書館）
 2. 大学図書館員のための元気になる広報セミナー（8月）

講師 茂出木理子氏（お茶の水女子大学附属図書館）
倉部史記氏（早稲田塾）
牟田静香氏（男女共同参画おおた）
 - パスファインダーバンクの運用
 - 広報グッズの作成
-

1. 分科会について

□ 管理するWebサイト

- 企画広報研究分科会

<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/>

- パスファインダーバンク

利用対象 = 図書館員、Web/図書館利用者

http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm

- Lib. PR 図書館広報実践支援サイト

利用対象 = 図書館員

<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/libpr/index.htm>

2. パスファインダーバンク

2. パスファインダーバンク

- Webで公開されたパスファインダーの「銀行」
- 2002年公開
- 約400件登録（登録館 約30館）

パスファインダーバンク

http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm

2. パスファインダーバンク

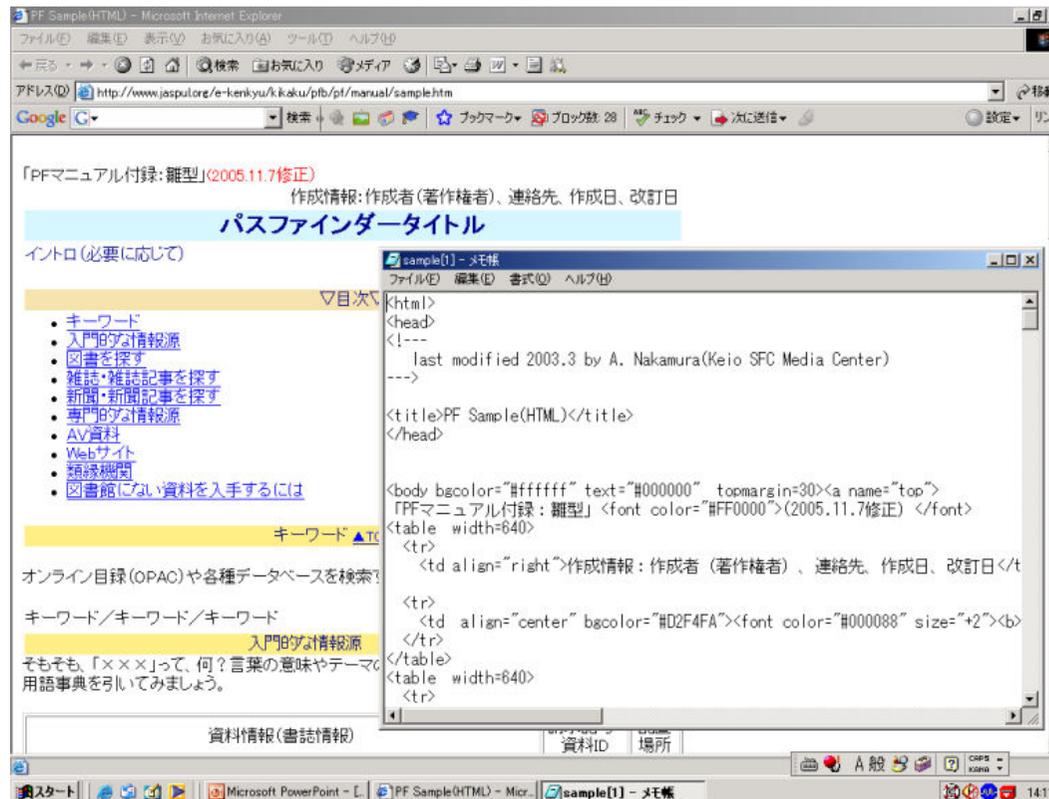
□ バンクの利用対象

① 一般利用者

② 図書館員（＝パスファインダー作成者）

- 作成ツールとして雛形（WordとHTML）を提供
 - 登録済パスファインダーを自館用にカスタマイズ
-

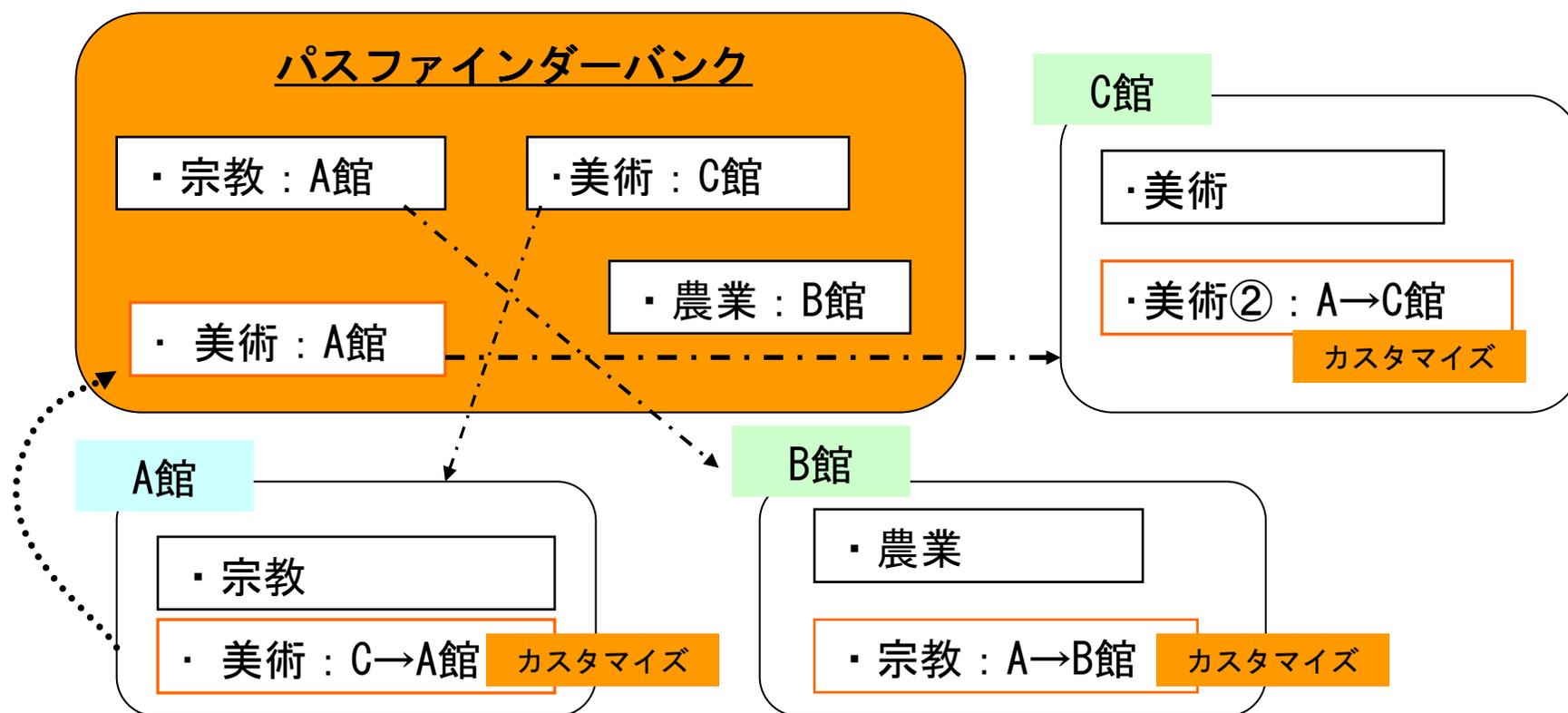
2. パスファインダーバンク



■ 雛形 (HTML版)

2. パスファインダーバンク

・ カスタマイズ概念図

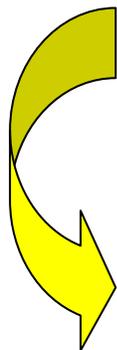


各館の得意分野を活かすことで、弱点を補完しあえる

2. パスファインダーバンク

□ 登録/利用条件の変更

- ・ 利用条件・・・作成館ごとにバラつき



作成館：使用状況を把握したい

バンク：共有を促進させたい

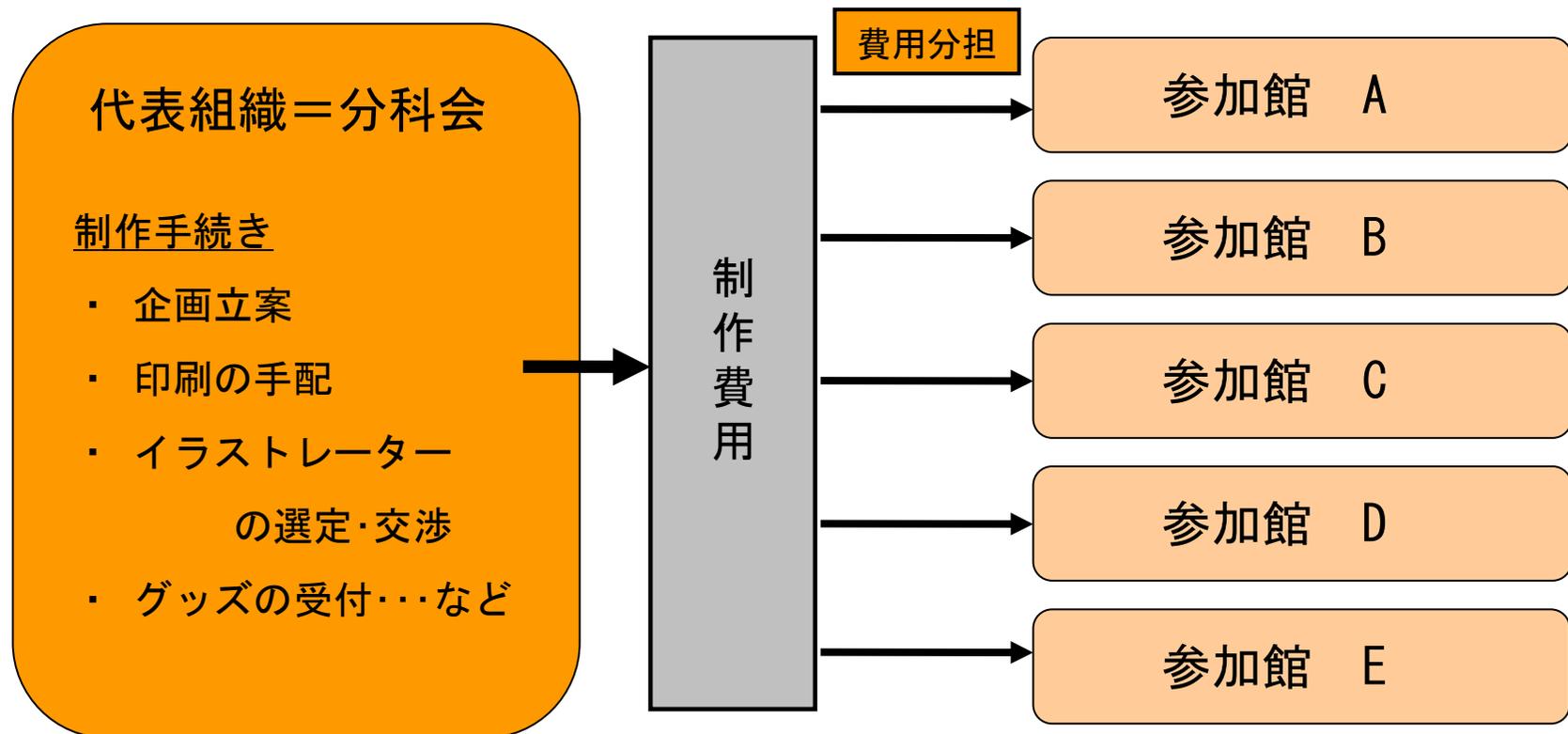
ルール変更(2006年)

リンク・カスタマイズをフリーに！

3. 広報グッズの共同制作

3. 広報グッズの共同制作

□ 共同制作とは？（分科会の実施例）



参加館が多いほど単価が安くなる！

3. 広報グッズの共同制作

□ 意義とメリット

- 制作の手間を削減
- 高品質のグッズを制作できる
- 参加館に応じてコストを節減できる
- 代表組織にも赤字が出ない



予算・ノウハウのない館でもグッズを利用できる！

3. 広報グッズの共同制作

□ 分科会における共同制作の歴史

- 1984年 制作開始 ※企画広報研究分科会としての独立前
- 1995年 日本図書館協会へ移管

詳細は「大学図書館研究」

第85号（掲載予定）をご参照ください

□ 1984～1999年 制作グッズとイラストレーター

- グッズ： ポスター、葉、掲示用紙
 - イラストレーター： 南伸坊、高野文子、
高橋留美子、水木しげる など
-

3. 広報グッズの共同制作

□ 2005年

- 作成グッズ：葉
- イラストレーター：フジモトマサル氏



□ 2007年

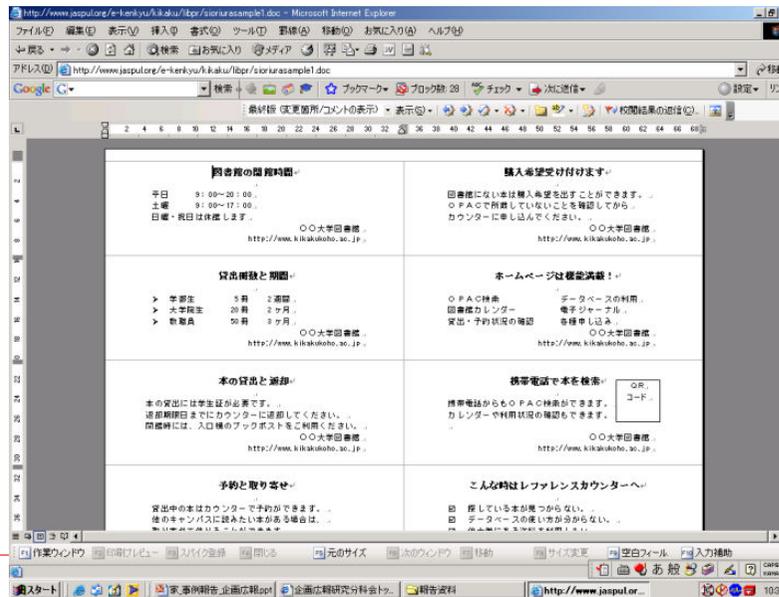
- 作成グッズ：葉
ビニールバッグ
- イラストレーター：石川ともこ氏



3. 広報グッズの共同制作

□ 葉を使った広報…なぜ葉か？

- 裏面は無地＝各館でメッセージを書き込める
- 実用面も備えた最小の広報ツール



メッセージ雛形はLib. PRで公開 (Word、Excel)

3. 広報グッズの共同制作

□ 販売広報・宣伝（2007年）①

- チラシの配布

 - 8月 図書館広報実践講座

 - 10月 私立大学図書館協会東地区部会加盟館
全国図書館大会

 - 11月 図書館総合展

 - 12月 2005年の申込機関へFAX送信 ……など

- 図書館関係者、各団体メーリングリストへの周知

3. 広報グッズの共同制作

□ 販売広報・宣伝（2007年）②

- メディアへの掲載依頼
『図書館雑誌』11月号
日本図書館協会利用教育委員会メールマガジン
 - asahi.com が紹介
<http://www.asahi.com/komimi/TKY200712260182.html>
 - 丸山高弘氏（山中湖情報創造館）がブログで紹介
<http://maru3.exblog.jp/6656425>
<http://maru3.exblog.jp/6828350>
-

3. 広報グッズの共同制作

□ 価格と申込件数（2007年）

- 葉（100シート/セット）
申込 366セット（53館）

→ 600円/セット

総申込セット数	1セット価格
100セットまで	1,200円
300セットまで	840円
500セットまで	600円

- ビニールバッグ（100枚/セット）
申込 293セット（45館）

→ 1,450円/セット

総申込セット数	1セット価格
80セットまで	1,800円
150セットまで	1,600円
200セットまで	1,550円
300セットまで	1,450円

3. 広報グッズの共同制作

- 購入機関へのアンケート（2007年購入館対象）
 - 利用者からの反応
 - かわいいと好評だった
 - どの絵柄にしようか、嬉しそうに選んでいた
 - 全種類集める学生もいます
 - 男子学生が多いが、出すとすぐになくなる
 - 小さいのでA4の配布物より受け取ってもらえる
-

3. 広報グッズの共同制作

- 購入機関へのアンケート（2007年購入館対象）
 - グッズの活用方法
 - 葉の裏面で図書館サービスを案内
 - （学部図書館で）学術用語の解説を掲載
 - イラストにちなんで、猫にまつわる文章を掲載
 - 偉人の名言を掲載
-

3. 広報グッズの共同制作

□ 購入機関へのアンケート（2007年購入館対象）

- そのほかの工夫
 - 試験期は掲載する文章を変える
 - 葉が8種類あることをポスターで告知
 - キャンペーンを実施する



学習院大学図書館

法学部・経済学部図書センター

各館が独自のアイデアを出して活用している

3. 広報グッズの共同制作

□ グッズ制作のこれから

1. 利用者層に合わせたグッズの考案
 - ・ グッズの多様性
 - ・ 対象と目的の明確化
 2. (成功失敗を含め) 情報が共有されていない
 - ・ 実践的なツール、経験、実例など
 - ・ 各館の独自の試行錯誤が続く
 3. 一分科会の活動を越えた拡がりを…
-

ご清聴ありがとうございました
